



豊東小だより

平成31年4月26日 5月号

練馬区立豊玉東小学校

校長 梅津 靖子

受け継がれるもの 受け継ぐもの

校長 ^{うめ つ やす こ} 梅津 靖子

桜の木々に新緑にあふれ、少し前までは固いつぼみだった校庭のハナミズキも、一斉に白い花を咲かせ美しい。ハナミズキの花が咲く頃には、学校の生活リズムもようやく落ち着いてくる。

豊東小の朝は、代表委員の挨拶運動で始まる。8時10分には、代表委員が正門の前に並び、登校する児童に、「おはようございます。」と声をかける。元気な声で挨拶をする児童、友達や下級生に手を振ったり名前を呼んだりする児童、恥ずかしそうに挨拶をする児童と様々であるが、どの代表委員からも責任のある大切な仕事だと自覚し、精一杯頑張ろうとする気持ちが、ひしひしと伝わってくる。この活動は、豊東小で受け継がれている活動の一つである。この毎日の活動で、自分から挨拶をする児童も増えてきている。1年生も、上級生の挨拶に、明るく元気な声で「おはようございます。」と応えている。良き伝統が、確実に引き継がれていると感じる瞬間である。

先日、3年生と4年生合同の遠足があった。行き先は飯能。天覧山への山登りもあったが、中央公園では、4年生が企画・準備した遊びを、グループに分かれて3年生と一緒に楽しむ活動があった。遊びは複数準備されていて、どのグループでも飽きることなく楽しく遊ぶことができていた。4年生の3年生への気遣いも随所に感じられた。お昼もグループごと。まず班長が場所を決め、その後皆が集まり、どのグループも和やかに食事が始められた。楽しそうに過ごす様子を見ていたら、すてきな子どもたちだなあと、心が温かくなった。3年生は、この時の楽しかったという思いを忘れることはないだろう。来年、4年生になった時には、この時のことを思い出し、きっと今年の4年生と同じように、3年生も楽しく過ごすことができるようにと考え行動するであろう。



3年生も4年生も楽しそうです。

本校では、『友遊タイム』という兄弟学年で遊ぶ時間を年8回設定している。この時間は、兄弟学年（1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生）でペアを組み、上級生が中心となり、下級生と交流できるよう計画を立てて実施する。上級生が主体的に活動できる場でもある。今年度は、活動時間を中休みとし、十分に時間を確保し、さらなる充実を図る。全校朝会では、6年生から「今週は、「ふれあい週間」です。金曜日には『友遊タイム』があります。金曜日だけでなく兄弟学年で楽しく過ごしましょう。」との話があった。学校のリーダーである6年生からの呼びかけである。遠足での4年生の3年生を思いやる態度は、1年生の時から上級生と共に活動を重ねる中で、体験を通して受け継がれてきたものなのだろう。

本校の校章の由来を調べてみると、「周りの点の輪は、「和」に通ずる。」という説明がある。

「和」の意味は、「仲よくすること。互いに相手を大切にし、協力し合う関係にあること」である。上級生が、①率先して範を示す。②丁寧に教える。③一緒に楽しく活動する。ことを通して、本校の校章に込められたいは、日々の活動に確実に具現化され、受け継がれている。今後もこの良き活動が

受け継がれていくように、子どもたちの一人一人が互いを思いやり、共に活動することを大切にする態度を養うことができる教育活動を推進していきたい。

【校章の由来】

開校の頃、学区域の千川堤は桜の名所であり、その桜をデザインしたものである。

中央の「東」を「ト・ヨ」で囲み、豊東を表現し、その周りの点の輪は、「和」に通ずる。

